

津山中

マップ作り実際に足運ぶ



これがイチオシ

囃子と獅子舞 伝統継承

登米市津山町には柳津と横山の二つの地区があり、それぞれ伝統芸能が受け継がれています。柳津はつやま打ち囃子、横山は火伏せの獅子舞です。

つやま打ち囃子は太鼓、しめ太鼓、篠笛によって構成され、太鼓の力強さで見る人に元気を与えます。火伏せの獅子舞は太鼓、小太鼓、篠笛、獅子、獅子を操るあやしからなり、見に来た人の頭を噛むことで幸せが訪れるよう一生懸命踊っています。高学年で練習を始め、卒業後も学校行事や地域の祭りで披露しています。

学校名 登米市立津山中学校
所在地 宮城県登米市津山町柳津館石6
創立 1975年
電話 0225(68)2083
校長 森 美紀子
生徒 64人

津山中学校では、総合的な学習の時間を使い、防災学習に取り組んでいます。地域の方との交流を大切に、本年度で4年目となりました。前年度までは、過去に起きた災害やこれから予想される被害、地域で防災に向けて取り組んでいることを、実際に現地に足を運んで調査するフィールドワークを通して、地域の方々に発表してきました。

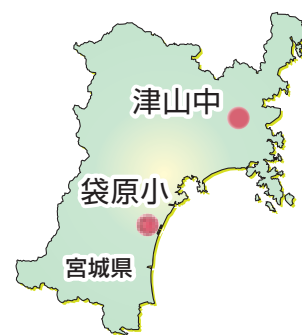


本年度の防災学習発表会の様子

編集委員 佐々木武流、佐藤翔琉、高橋かりん、高橋凜(3年) 阿部琴音、大森康平、菅原颯太(2年)
指導教員 伊藤春花

防災学習通じ地域交流

わが校わがまち スクール通信



今回は 亦楽小(七ヶ浜町) 広瀬中(仙台市)

学校内外で元気を届ける

袋原小

心込もるあいさつ自慢

私たちの学校の自慢は「ハートフルあいさつ」です。明るく元気な心で、心込もるあいさつを目標とし、全校児童で取り組んでいる目標です。登下校中や教室の中などさまざまなところで毎日、心がけています。袋原小学校には年に数回、学年の中で特にすてきなあいさつをしている人を選び、表彰する「キラリあいさつ賞」があります。8年前から行われていて、全校児童の前で校長先生から表彰されます。先生方や学校のみならず、学校全体で続けたいと思っています。



「キラリあいさつ賞」の表彰を受けた児童たち(写真の一部を加工)

編集委員 菊地悠暉、佐々木彩梨、三文字らら、末永琉愛、高木駿矢、千葉辰金、沼田寧々、守篤人(6年)
指導教員 瀬下悠太郎、戸田凱斗



これがイチオシ

「炎舞団」振り付け工夫

袋原小学校には24年の歴史を持つ「炎舞団」があります。結成当初は6年生全員が所属していました。現在はクラブ活動の一つに位置付けられ、4~6年の約40人で取り組んでいます。

毎年、仙台市で行われる「みちのくYOSAKOIまつり」に参加するため、クラブ活動の時間だけでなく、朝の時間や休み時間なども活用して、練習しています。クラブの6年生を中心に考える振り付けや隊形移動は、その年ごとの工夫があり、見に来る方を楽しませています。

学校名 仙台市立袋原小学校
所在地 仙台市太白区中田町法地南4の2
創立 1976年
電話 022(241)8521
校長 井上 竜一
児童 722人



河北新報の仕事 がんばった 仙台市スチューデントシティ支局員紹介

「スチューデントシティ」は、仙台市内の小から、6年生がお仕事をして給料をもらい、買い物や納税をする「小さな街」です。河北新報社は、新聞づくりなどの仕事を体験する支局を開設しています。



八木山小6年 (10月8日)



富沢小6年 (10月9日)



沖野東小、桂小6年 (10月3日)



岡田小、西中田小6年 (10月4日)

キッズクッキング 管理栄養士 奈良 理香子

キノコのクリームパスタ

パスタは幅や長さ、形によりいろいろな種類があります。フェットチーネは、平たいきしめんのようなパスタで弾力のある食感です。イタリア語で小さなリボンという意味があり、濃厚なソースによく合います。



- ＜主な材料(2人分)＞
・フェットチーネ(生パスタ)2玉(220g)
・シメジ、エノキタケ、マイタケ各100g
・ニンニク(みじん)小さじ2
・A(牛乳、生クリーム各100ml、粉末コンソメ小さじ1)
・黒コショウ、乾燥パセリ少々



①キノコとベーコンは食べやすい大きさに切り、パスタは表示通りにゆで、ざるにあげる。



②バターでニンニクを熱しキノコとベーコンを炒め、Aとパスタを入れ3分加熱する。器に盛り、コショウとパセリをふる。